



岐阜陸上競技協会広報

第15号

2025年8月1日発刊

一般財団法人 岐阜陸上競技協会

事務所／〒502-0851 岐阜市鷺山2562番地28

TEL (058) 294-6494 FAX (058) 294-6491

E-mail gifurik-jim@rhythm.ocn.ne.jp

〈赤松選手・安藤選手 東京2025世界陸上を目指して〉



第109回日本選手権陸上競技選手権大会 東京



名古屋ウィメンズマラソン2024

東京2025世界陸上 代表

P1 ~ P3

① 赤松 謙一選手(西部プリンス) ② 安藤 友香選手(しまむら)

U18アジア陸上選手権女子400mに優勝して

P4

① 今峰 紗希選手(済美高)

2024年度 トピックス

P5 ~ P7

① 田中 謙二郎選手(新潟医療福祉大学)

② 長谷部 光輝選手(RIXPERT)揖東中

③ 篠田 佳奈選手(京都大学)

2024年度 日本陸連競技者育成章を受章して

P8

① 原田 憲一(評議員) ② 川瀬 巧(常務理事)

2025年度 岐阜陸上競技協会 挨拶

P9 ~ P10

① 会長 ② 専務理事

2025~2026年度 岐阜陸上競技協会組織図

P11

2024年度 第108回全日本選手権混成大会特集

P12 ~ P13

2024年度 岐阜県出身選手の記録

(主な国際大会・国内大会の記録)

P14 ~ P15

2024年度 岐阜県開催の全国大会・地域大会

高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン大会2025

P16

2024年度 各委員会・専門委員会 活動報告

2025年度 各委員会・専門委員会 活動計画

P17 ~ P29

2024年度 地区陸上競技協会 活動報告

2025年度 地区陸上競技協会 活動計画

P30 ~ P36

東京2025世界陸上を目指して

西武プリンス 赤松 諒一

今年の日本選手権は2m25をクリアしての2位という順位で競技を終えました。昨年の日本選手権と同様の記録ではあります。今年は九電工の真野選手が好調であり、1歩及ばず3連覇を逃してしまいました。試合の内容としては2m15から2m25までは1発で成功させることができ、順位を狙う試合としては良い試合運びであったと思います。2m33にも挑戦することができたので世界選手権に向けて自己ベスト更新のイメージを掴むことはできたかと思います。9月の東京世界選手権への出場は日本選手権3位以内が条件となっており、それは達成することができたためひとまず安心できました。優勝を狙っていたため同時に悔しい思いが残る一戦となりましたが、東京世界選手権も同じ国立競技場で開催されますので、事前にターチンの感覚などを再確認できたのは大きな収穫であったと思います。

今年は3月にチェコ、5月にドーハと試合を重ねてきましたが、2m23~26の記録を安定してクリアしている一方、2m30に届く跳躍はまだ出せていない状況です。あと一步思い切って踏み込むことができれば届く感覚はありますが、以前からの怪我が試合中に痛む場面もあり、なかなか思うような跳躍ができていない状況です。しかし、これらの試合に出場することでワールドランキングを大きく更新することができたため、東京世界選手権の出場圏内に入ることができました。順当にいけば代表に選出していただけると思われま

すので、試合当日までの2か月でしっかりと準備を整えていきたいと思います。今回は東京開催ということもあり日本人の観客の皆様に応援してもらいながらの試技への挑戦ができるで非常に楽しみにしております。代表に選出していただけましたら、ぜひ皆様の応援の力を借りて大きなジャンプを成功させたいと思っております!

応援よろしくお願ひいたします!



PARIS 2024

パリ2024オリンピック 日本勢最高に並ぶ第5位入賞 2m31



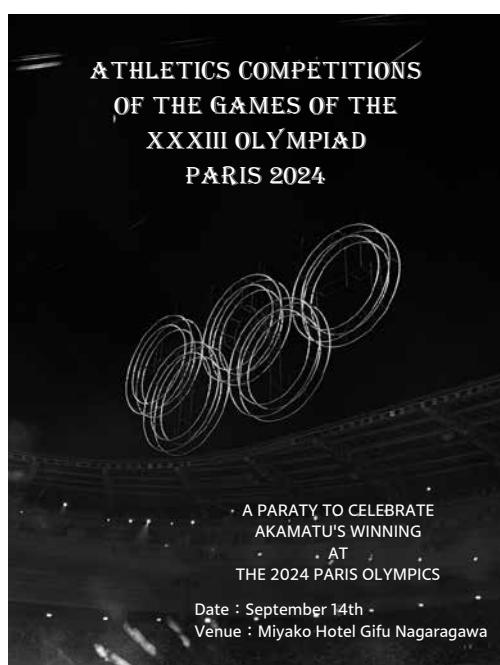
2024パリオリンピック入賞を祝う会 2024.9.14(土) 都ホテル岐阜長良川 淀の間



「清流の国ぎふ栄誉賞」中央 8月21日受章
「パリオリンピック走高跳5位入賞ディプロマ」左



パリオリンピック日本選手団ユニフォーム



東京2025世界陸上マラソン出場決定

しまむら 安藤 友香



みなさんこんにちは。

しまむら女子陸上競技部に所属しています、安藤友香です。東京2025世界陸上競技選手権大会にマラソンで出場させていただきます。

自国開催で行われるこのタイミングで、代表として走らせていただくことはとても光栄なことですし、恥ずかしい走りをしないように精一杯頑張ります。また、自国開催にちなんで都道府

県対抗女子駅伝では、ふるさと岐阜県の代表としても昨年走らせさせていただきました。こうして離れていてもふるさとの代表として選んでいただけることに、感謝の気持ちでいっぱいです。支えてくださる皆さんの温かさや力をいただいて、これからも自分ができるベストを尽くして頑張ります。

今後とも応援よろしくお願いします!



名古屋ウィメンズマラソン2024優勝

U18アジア陸上競技選手権女子400mで優勝して

済美高 今峰 紗季



決勝を走り終え、タイムは悪すぎましたが、優勝できて良かったです。昨日の予選では、アップの時の感覚は良かったのに、タイムがいま一つで、自分でもなんであんなに遅かったかわからず、予選も2着ということもあり、気分も結構落ちてしまいました。また、みんなが期待してくれるのに情けない結果では帰れないと思って焦りました。決勝に向けて修正するために、今までに調子良かったときの動画を何回も見返したり、普通に走ったら余裕で勝てると自分に言い聞かせたりしました。レース本番は昨日よりも風が強くて、バックストレートに向かい風は5~6m位あったのではと思うくらいの強風でレースが始まりました。自分の前には速い選手がいなかったので、前の選手について行くとかではなく、いつものように前半から飛ばす作戦を行きました。後半は諦めようと思う位とてもきつくてしんどかったけど、なんとか耐えることができました。

ここで優勝ができたのは嬉しいけれど、目指す1番の目標はインターハイでの女子総合優勝なので、これからも練習に励んで、必ず全国優勝をし、日本一を勝ち取ります。



済美高等学校 陸上部監督 太田三暁

本校の今峰紗希が、2025年4月15日(火)~18日(金)にサウジアラビアのダンマームで行われた、第6回U18アジア陸上競技選手権に参加しました。

結果は、女子400mに出場し、57秒27の記録で、見事優勝し金メダルを獲得することができました。バックストレートに強い向かい風がふく悪コンディションながらも、前半から果敢に攻め、見事勝ち切ることができました。

競技力はもちろんのこと、気持ちも強い選手でこれから岐阜県の陸上界を背負って立つ存在になれるようこれからも指導していきたいと考えています。



日本学生陸上選手権男子十種競技で優勝して

新潟医療福祉大学大学院 田中 廉治郎



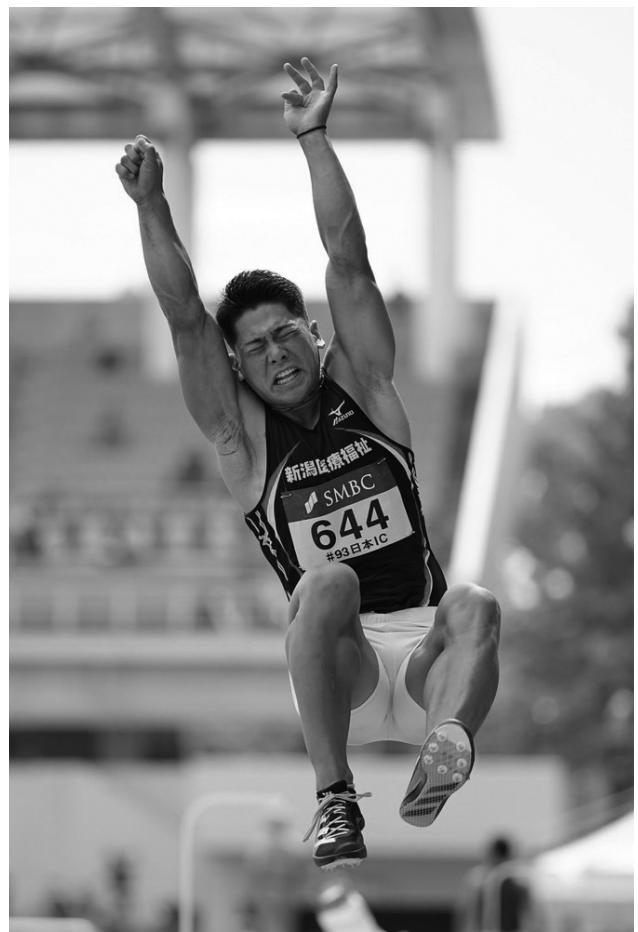
昨年度の日本インカレで三位入賞してから今回のインカレまで日本一を目指して取り組んできました。

この一年間の取り組みで大きく変化したことは「目的と効率」です。大学院に進学して学業や研究により、これまでのようく練習時間を確保できませんでした。何のためにこの練習を行うのか、この練習にどういう効果があるのかを常に考え、時間

や体力を無駄にせず効率よく取り組めるようになりました。多忙な中でも院生らしく頭を使って取り組めたと思います。

今回の日本インカレは、1日目から自分の持ち味であるスprintで上位に付け、いい流れのまま10種目やり遂げることができました。最後の1500mが終わった後、電光掲示板に自分の名前が一番上に表示されたときは、本当に信じられませんでしたがたくさんの方からお祝いの言葉をいただき、実感が湧き、本当に嬉しい気持ちでした。

来年度は学生として陸上ができる最後の年になります。インカレ2連覇や岐阜で開催される日本選手権混成で入賞することを目標として現在取り組んでいます。学生のいい締めくくりができるよう頑張ります。そして、満足に練習ができる環境、一緒に練習に励む陸上部の監督、コーチ、仲間、普段から支えてくださる家族といった自分の周りの方への感謝の気持ちを忘れずに今後とも精進して参ります。



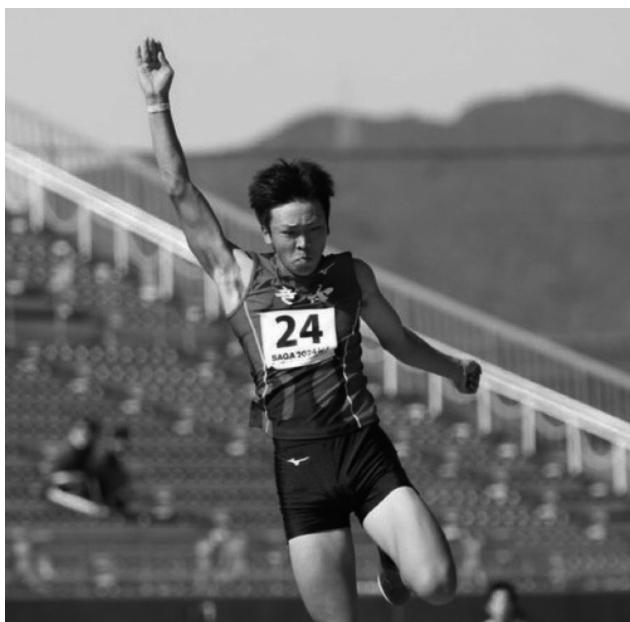
佐賀国民スポーツ大会少年B男子 走幅跳優勝・岐阜県中学新記録を達成して

RIXPERT(揖東中) 長谷部 光輝



国民スポーツ大会に初めて出場し、少年B走幅跳で優勝する事ができ、とても嬉しく思います。国スポ出場が決定した時は、日々ご指導頂いているコーチと離れ、中学生の自分が岐阜県選手団で行動し県の代表として出場することに大きな不安がありました。大会当日は結果にこだわり過ぎず、今までの取り組みを信じて競技を楽しむ事に集中できたことで、4本目に7m21cmの自己ベストで県中学新記録を39年ぶりに更新して優勝することができました。ク

ラブチームのコーチ、国スポ強化の先生方、その他多くの方々のご指導や応援が心の支えになり、自分の持っている力を最大限発揮できたと思います。今回の大会を通じて、たくさんの事を経験させて頂き、学び、より成長できたと思います。2025年の目標は国スポの二連覇とインターハイ入賞です。そのためにも肉体面、精神面を強化し自分らしく陸上競技を楽しめるよう、日々努力していきます。



RIXPERT跳躍指導担当 中 宗一郎

2024年2月に開催された大阪室内U16大会において全国優勝を成し遂げてからは、より具体的な技術課題を設定し段階的な習得を計画しました。今大会の7m21という優勝記録も、長谷部選手自身が技術課題をしっかりと理解し、習得に向けて地道な努力を積み重ねてきたからその結果になります。何より、7m21を記録した4本目試技に至るまでの技術や心理状態のコントロールといった戦略面も高く評価することができ、シーズンを通して多くの経験と成長が得られたと感じます。類稀なる運動感覚と探究心を武器に、より多くの知識を身につけ、より深く理論を理解しながら独自の道を模索し、世界に挑戦できる選手に成長することを期待しています。

日本学生選手権女子やり投3位入賞・ 関西学生選手権で岐阜県新記録を達成して

京都大学 篠田 佳奈



5月の関西学生選手権では自己ベスト、岐阜県新記録で優勝できました。三個下の子が岐阜県記録を持っていましたので早く塗り替えて自分の名前を載せたいと思っていました。試合後に岐阜県新記録と分かったときは非常に



嬉しかったです。

9月に行われた日本学生選手権では3位入賞しました。優勝を目指していたので自分にとっては非常に悔しい結果でした。自分の力不足を痛感させられる試合となりました。幸いにもまだ学生日本一になるチャンスがあるのでそこで勝てるよう精進します。

10月の佐賀国スポは大好きな岐阜県の代表として岐阜県のユニフォームを着て戦い、入賞できて非常に楽しかったです。

来年度は大学院に進学し競技を継続します。来シーズンの目標は60m、ユニバーシアード出場、日本学生選手権優勝です。岐阜県記録を更新する、国スポで上位入賞をして1点でも多く点を取るなどして地元岐阜県に貢献できたらと思っています。

今後ともご声援のほどよろしくお願ひいたします。



2024年度 日本陸上競技連盟 競技者育成章を受章して



元岐阜大学陸上競技部監督 原田 憲一

パリ2024オリンピック男子走高跳で5位(2m31cm自己新記録)入賞した赤松諒一選手と岐阜大学在学中に関わっていたということで、日本陸連より競技者育成章を頂きました。

赤松選手は大学2年生時に日本ICで優勝(2m25cm当時自己新記録)と既に頭角を現し、その後も国内外で活躍してきました。初めてのオリンピックで入賞できたのは彼の勝負強さもあって幸運だったと思います。また私自身も赤松選手と関わることで種々学ぶことがあり、彼と出会ったことはとても幸運であり感謝です。

岐阜で生まれ、高校・大学・大学院・社会人と岐阜を出ることなく競技を続け活躍してきた競技者が、世界の仲間入りできたということは嬉しいことだと思います。

元加納高校陸上競技部顧問 川瀬 巧

2024年10月12日佐賀国民スポーツ大会の授与式で競技者育成章をいただきました。

2024年6月30日雨の新潟デンカビッグスタジアムで2m15,20,25をすべて1回でクリアしてパリオリンピックへの切符を手中にする瞬間を競技役員として目の前で見ることができました。競技終了後すぐに握手できたことはとてもいい思い出です。

しかもそのパリで自己新記録2m31を1回でクリアして5位入賞できるとは!!

赤松選手と高校で一緒に練習できたことは指導者としてとても名誉なことだと思っています。ありがとうございました。

2025年度 岐阜陸上競技協会 挨拶



「ご挨拶」

平素より、本協会の活動に、
ご支援とご協力をいただき心より
お礼を申し上げます。

2024年度は、気候変動による猛暑や落雷・新型コロナ感染症・インフルエンザが季節に関係なく流行するなど、選手や大会運営に大きく影響する中ではありましたが、アスリートを含め競技役員の丁寧な競技運営により充実した1年となりました。

この中で、2024年度の国際大会における岐阜県出身選手の活躍は目覚ましいものがありました。パリ2024オリンピックでは、走高跳で赤松諒一選手(西部プリンス)が2m31の5位入賞を果たしました。この成績は、走高跳の日本人選手として88年ぶり入賞の快挙となり岐阜県新記録も樹立しました。また、第108回日本選手権で優勝およびセイコーゴールデンランプリ陸上2024東京でも4位入賞をしています。さらに東京2025世界陸上で大活躍を期待しています。

マラソンでは、安藤友香選手(しまむら)が、東京2025世界陸上代表に決定しています。安藤選手は、2024.3の名古屋ウィメンズマラソンで優勝して参加標準記録を突破し、東京マラソン2025(JMC)で日本人トップの1位となりました。また、都道府県対抗女子駅伝に12年振りに県代表として出場し、9区区間8位・10人抜きの快走でチーム順位を大きく押し上げました。

高校生では、今峰紗季選手(済美高)がU18アジア選手権2025(サウジアラビア)女子400mで優勝しました。昨年の高校総体や佐賀国スポでも活躍し今後さらなる飛躍が期待されます。

世界のトップレベルに挑む選手たち一人一人のドラマがあり、そのドラマは選手を支える多くの人たちの夢や希望が詰まっています。競技スポーツが多くの感動を私たちに与えてくれる理由がそこにあると思います。選手たちが私たちに与えてくれる感動とともに「夢をあきらめない」

一般財団法人岐阜陸上競技協会 会長 尾藤 義昭

「希望を忘れない」を認識させてくれるものになると思います。この意義を大切にしながら、岐阜の陸上競技界が発展することを期待します。

岐阜県では、2024年・2025年と日本陸上競技選手権大会・混成競技、U20日本陸上競技選手権大会・混成競技が2年連続して開催されました。今年はさらに日本陸上競技選手権・リレー競技、U16陸上競技大会4×100リレーが開催されました。この大会は、キング&クイーンオブアスリートやリレーの日本チャンピオンを決めるだけではなく、混成競技の魅力を伝えることで岐阜から競技人口の増加やジュニアファン增加を目指す大会となります。

日本トップレベルの大会を開催することは、岐阜陸協役員の競技運営レベルの高さと岐阜メモリアルセンターが記録の出る競技場であることを証明するものです。

改めて、岐阜陸協役員の皆様に感謝いたします。

2025年も本協会は、4月の高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン、7月の日本陸上競技選手権・混成競技大会、日本ID陸上競技選手権大会に運営協力いたします。安全でレベルの高い大会運営に会員の皆様のご協力をお願いいたします。



2025年度 岐阜陸上競技協会 挨拶



「2025年度に向けて

昨年はオリンピックイヤーとして岐阜県陸上界は大いに沸きました。

パリ五輪で赤松諒一選手(SEIBU PRINCE)が走高跳で日本人選手として88年ぶりとなる5位入賞(2m31自己新記録)を果たしてくれました。その偉業達成への祝福と尊敬の気持ちが重なり陸上界だけではなく岐阜県民におおきな感動と喜びをプレゼントしてくれました。オリンピックの報告を兼ねて長良川競技場に来場された折に、大会でのプレゼンターの任についてもらいました。赤松選手の登場に会場が沸き、そして、赤松選手から賞状を授与されるジュニア世代の選手たちの目が生き生きと輝き高揚する姿が印象的でした。2024年度のあいさつの表題に「陸上好きな子供たちを育成する」という言葉を選び掲載させていただきましたが、まさにその思いの一つが達成された場面でした。陸上の体験を共通として、世代を超えた選手間に生まれる尊敬や憧れ。将来、この感動を経験したジュニアたちの中から、必ずや第2、第3の赤松選手が誕生してくれることを期待したいと思います。今年は、東京2025年世界陸上の年です。「岐阜から全国、アジア・世界へ」に向けてさらに大きく飛躍する絶好の機会です。赤松選手が開けてくれた「岐阜から世界への扉」。次はだれが開けてくれるのでしょうか。

さて、今年は、岐阜陸上競技協会役員の改選年にあたります。新参与に松原晃正氏、浅野美津子さんをお迎えし、尾藤会長を筆頭とする理事会29名(新任理事5名)、評議員会17名(新任評議員4名)の体制で2025年~2026年の任期を活動することになりました。委員会の連携による活動の強化、競技会の運営整備、中学生期、高校生期選手の育成、審判員育成・指導者育成研修会などの課題に向けて会員の皆様のご協力をお願いいたします。

～陸上好きな子供たちを育成する～

一般財団法人岐阜陸上競技協会 専務理事 黄倉 寿雄

本年度競技会の開催において、緊急な問題として、WBGT問題対策があります、選手役員の健康を守るために必要なことであり時期としては、7月8月に開催を予定している大会が該当すると思います。暑さ・熱中症の個人的対策はもちろんのこと、大会中のWBGT値の計測と危険値時には競技の休止又は中止もやむを得ないと考え大会に臨むことが大事だと思います。今後は、現在の年間スケジュール変更も必要になってくると思います。当然、全国大会の日程にも変化がみられることと思います。その状況に合わせながら地区予選、県予選などの日程にも変更が余儀なくされると思います。さらに、会員の皆さんの地域陸協のスケジュールの見直しも必須となってくると思います。いずれにしても、大会開催準備段階において従来からの、警報対策カミナリ対策に加えてWBGT対策の準備もお願いいたします。

2025年度は、7月12日~13日 第109回日本陸上競技選手権大会混成競技会、第41回U20日本陸上競技選手権大混成競技会に第109回日本陸上競技選手権リレー競技会、第56回U16リレー選手権を長良川競技場で開催します。その翌週7月19日~20日にはWPA公認 第30回日本ID陸上競技選手権大会(兼)パラ陸上競技記録会「全国ID大会が予定されています。競技会の運営は大変ですがこの効果は普段の大会の運営に大きく貢献していると思います。審判員の的確な整然とした行動は大会の雰囲気に適度な緊張感を醸し出し、選手たちも安心して競技に打ち込めると思います。本県の審判員の皆様にはこの雰囲気を作る力をもって見える方が多く他県からも高評価をいただいている。審判員の皆様のご努力とご協力に深く感謝申し上げるとともに、本年度も全国から来県する選手を岐阜愛で包み大会成功に向けてのご協力をお願いいたします。

2025年～2026年(一財)岐阜陸上競技会 役員一覧

名 誉 会 長 ——

名 誉 副 会 長 —— 加藤 昌弘 遠山 惣平 田口 利正 小倉 新司 牧野 安孝

顧 問 —— 渡邊 国昭 山内 浩 小池 良司 山田 展也

参 与 —— 沼本 芳郎 松永 武彦 後藤 勝二 松岡 洋明 堀 次郎 白井 隆 馬場 保
杉山 美生 加藤 正 松原 晃正 浅野 美津子 小森 博昭

理 事 ——

会 長 —— 尾藤 義昭

副 会 長 —— 田中 里枝

専 務 理 事 —— 黄倉 寿雄

常 務 理 事 —— 溝際 佳典(経営企画部長) 川瀬 巧(事業交流部長)
林田 仁(強化・普及部長) 狩野 靖(管理部長兼中濃地区代表)
吉田 靖(経営企画部一総務委員長) 宇野 雅浩(経営企画部一広報委員長)
郷 直人(事業交流部一競技委員長) 今井 順也(強化普及部一強化委員長)
竹内 茂寿(強化普及部一普及委員長) 脇田 篤実(管理部一研修委員長)
奈波宏和(管理部一財務委員長)

委 員 長 —— 渡邊 喜久子(女性) 河野 康彦(施設用器具) 山下 和行(情報記録)
河島 正弘(医事) 國島 智也(審判)

協力団体理事 —— 太田 和憲(高体連) 酒井 俊輔(中体連)

地区代表理事 —— 正村 菊雄(岐阜) 鈴村 幸宣(東濃) 安田 貞美(西濃) 坂谷 幸紀(飛騨)

女性代表理事 —— 藤村 純子 小澤 奈津子 渡邊 沙弥佳 水谷 敦子

監 事 —— 田中 英俊 杉山 昭彦

評 議 員 —— 岡部 孝・原田 憲一(岐阜) 高橋 良司・木村 正行(西濃)
川島 清人・渡邊 宗治(中濃) 尾関 祐一・澤田 和彦(東濃)
清水 洋一・中切 幹男(飛騨) 沖村 敏寛(高体連) 久川 直之(中体連)
河村 道彦(学連) 浅尾 豊久(マスターズ) 小鞠 栄二(実業団)
吉田 徹(岐阜パラ陸) 高井 繁喜(学識)

第108回全日本陸上競技選手権・混成大会 U20全日本陸上競技選手権・混成大会

2024年6月22日(土)23日(日) 岐阜メモリアルセンター

スズキアスリートクラブヘッドコーチ アスリートコラボレーター 中村 明彦



2024日本選手権は岐阜での開催となり、日本選手権をより選手に近い目線から盛り上げようと新たにアスリートコラボレーターが新設され、引退直後ということもありこの度拝命いたしました中村明彦です。

昨年の秋から日本陸連・岐阜陸協まとめて会議を重ね今年の大会にこぎつけました。競技運営にかかる様々な事案に対し選手目線で意見し、競技が盛り上がるよう様々な企画を出し会議を重ねてきました。

その中で今年新たに実施できたものは2つあります。1つは、事前の小学校訪問です。海外のグランプリでは時差調整やトレーニングのために早い選手は2週間ほど前に現

地入りします。選手の空いた時間に負担にならないよう配慮されながら、近くのアーケードで陸上教室が開催され選手との触れ合いを子供たちが楽しんでいます。今回、選手にはお願いできませんでしたが大会前に2つの学校にお邪魔してきました、子供たちは十種競技で使用する多種多様の器具に触れ砲丸の重たさ・ポールを持って走ることの大変さに驚いている姿が印象的でした。

2つ目は競技場のフィールドツアーです。生で見る競技は迫力がありますがスタンドまでの距離があります。そこで普段見られない競技をもっと間近で見てもらいたいと企画しました。事前訪問した学校で募集し、当日は棒高跳の練習跳躍をピットの真横で見学しました。選手がポールを持って走っている姿・ポールが突っ込まれた時の音や衝撃・身体が空中に飛ばされて落ちてきた選手も見た時のキラキラした顔が忘れられません。

様々な無理難題を叶えて下さった岐阜陸協さんには感謝の念に堪えません。

また来年開催される日本選手権がより良いものとなるよう私自身も尽力していきたいと思います。



シニア・U20男子十種競技入賞選手



シニア・U20女子七種競技入賞選手



シニア女子優勝 热田 心(岡山陸協)5750点



スタジアムツアー 12日(日)小学生30名が参加
棒高跳びの練習をピットで見学し迫力を体感
写真判定室、アナウンス室、大型映像室を見学し、アナウンスを体験



シニア男子優勝 丸山 悠馬(住友電工)7870点



チャレンジキッズコーナー 2日間で約150名が自主参加
短距離走、ハーダル走、ボール投げ、垂直飛び各測定を行なながら、動きを楽しみました。

令和6年度 主な国際競技会出場者(8位まで)

第33回オリンピック競技大会(8月1日~11日)

フランス・パリ

・ 男子 走高跳	赤松 誠一	日本	2m31 第5位(県新記録)
----------	-------	----	----------------

WORLD ATHLETICS CONTINENTAL TOUR ~GOLD~

セイコーゴールデンランプリ陸上2024東京(5月19日)

東京・国立競技場

・ 男子 走高跳	赤松 誠一	SEIBU PRINCE	2m24 第4位
----------	-------	--------------	----------

第11回アジア室内陸上競技選手権大会(2月17日~19日)

イラン・テヘラン

・ 男子 走高跳	赤松 誠一	日本	2m19 第1位
----------	-------	----	----------

第1回アジアリレー(5月20日~21日)

タイ・バンコク

・ 女子 4×400mR	岩井 優菜 ⇒ 井戸 アビゲイル風果 ⇒ 保田 晴菜 ⇒ 森山 静穂	日本 美濃加茂西中出身	3:35.45 第3位
--------------	---------------------------------------	----------------	-------------

ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ マラソングランドチャンピオンシップファイナルチャレンジ

愛知・名古屋

・ 女子 マラソン	安藤 友香	ワコール 日新中出身	2:21:18 第1位
-----------	-------	------------	-------------

ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ シリーズⅢポイントランキング

・ 女子	安藤 友香	ワコール 日新中出身	2598pt 第2位
------	-------	------------	------------

男子グレード1】第55回防府読売マラソン大会(12月1日)

山口・防府

・ 男子	中西 亮貴	トーエネック 益田清風高出身	2:09:07 第1位
------	-------	----------------	-------------

WORLD ATHLETICS LABEL ROAD RACES REGULATIONS

神戸マラソン2024(11月17日)

会場 兵庫・神戸

・ 女子	馬渕 裕子	Ogaki AC	2:45:32 第6位
------	-------	----------	-------------

※令和6年度 国際競技会出場者及び全国主要競技会成績上位者(8位まで) 令和6年度 岐阜県陸上競技十傑表に詳細記載

2024ジャパンパラ陸上競技大会(香川県高松市)
レグザムフィールド高松

2024.9/28~29

種目	クラス	名前	記録	風	順位
100m	T12	山路 喬哉	11秒86	(+0.2)	決勝 第1位
	T46	石田 駆	11秒17	(-0.4)	決勝 第1位
		山田 翔太	12秒64	(-0.4)	決勝 第3位
200m		山田 和奏	29秒89	(-2.8)	決勝 第5位
		山口 結朱	31秒13	(-2.8)	決勝 第7位
		長棟 静夏	33秒97	(-2.8)	決勝 第8位
400m	T20	山田 和奏	1分07秒85		決勝 第5位
走幅跳	T12	山路 喬哉	5m98	(+0.5)	決勝 第1位
	T20	渡辺 愛翔	6m22	(+2.7)	決勝 第2位
砲丸投	F20	加藤 玲奈	6m15		決勝 第2位
	F34	矢嶋 章浩	4m57		決勝 第3位
円盤投	F20	加藤 玲奈	16m48		決勝 第2位
	F34	矢嶋 章浩	11m53		決勝 第2位
やり投	F20	近藤 墓太郎	36m84		決勝 第4位
	F34	矢嶋 章浩	11m77		決勝 第3位

2024 第35回日本パラ陸上競技選手権大会(三重県伊勢市)
三重交通Gスポーツの杜 伊勢陸上競技場

2024/6/8~9

種目	クラス	名前	記録	風	順位
100m	T12	山路 喬哉	11"79	(-0.3)	第2位
		山路 竣哉	11"77	(-0.3)	第1位
	T46	石田 駆	11"29	(-0.3)	第1位
走幅跳	T12	山路 喬哉	5m46	(-3.4)	第2位
砲丸投	F34	矢嶋 章浩	4m82		第1位
円盤投	F34	矢嶋 章浩	12m15		第1位
	F34	江口 昇太	8m52		第2位
やり投	F34	矢嶋 章浩	12m20		第1位

2024年 岐阜県開催の全国大会・地域大会一覧

- ①ぎふ清流ハーフマラソン(4月28日)
- ②中部実業団対抗陸上(5月11日～12日)
- ③東海学生陸上競技選手権(5月25日～26日)
- ④東海高等学校高校総体(6月14日～16日)
- ⑤日本選手権・混成大会
U20・日本選手権混成大会(6月22日～23日)
- ⑥東海陸上競技選手権(8月17日～18日)
- ⑦全日本実業団対抗陸上(9月22日～24日)
- ⑧中部実業団多治見フェスティバル(10月5日～6日)
- ⑨秋季東海学生陸上競技選手権(10月19日～20日)
- ⑩東海高校駅伝(11月24日)

高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン大会2025 (4月27日)



スターー 江崎 穎英 知事



登録の部男子月桂冠授与 尾藤 義昭 岐阜陸協会長



登録の部女子表彰 尾藤 義昭 岐阜陸協会長

専門委員会報告

総務委員会

今年度は日本陸上競技選手権混成競技大会が岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催され、役員の方々のご協力により無事に運営することができました。ありがとうございました。総務委員会としても計4回の理事会、定例評議員会、栄章審査会、2回の競技会要覧会議を全て予定通り開催することができました。また、3月2日(日)には昨年度の優秀指導者章と合わせて2024年度栄章表彰式を岐阜メモリアルセンターにて開催することができました。

少子高齢化に伴うジュニア選手の人口減少、審判員の確保、中学校部活動の地域クラブ移行など様々な課題はありますが、今の時代に即しながら、2025年度も安心・安全な大会運営を行って行きたいと思います。会員の皆様には今後とも岐阜陸上競技協会へのご理解とご支援をよろしくお願い致します。

【2025年度 総務委員会 事業計画(案)】

1 理事会・評議員会

月 日	曜 日	会 議	時 間	場 所
5月18日	日	第1回理事会	15:00~17:00	長良川競技場 会議室
6月28日	土	定例評議員会	15:00~17:00	長良川競技場 会議室
8月9日	日	第2回理事会	10:00~12:00	長良川競技場 会議室
12月6日	土	第3回理事会	15:00~17:00	長良川競技場 会議室
2月28日	土	第4回理事会	13:00~15:00	長良川競技場 会議室

2 委員長会議(必要に応じて開く)

3 栄章関係

月 日	曜 日	会 議	時 間	場 所
11月初旬		栄章候補提出依頼		
12月6日	土	栄章審査会	13:00~14:00	長良川競技場 会議室
2月中旬	日	受章者案内発送		
2月28日	土	栄章表彰	審判講習会の前	長良川競技場 会議室

※栄章受章者集合写真撮影…業者に依頼

4 競技会要覧関係

月 日	曜 日	会 議	時 間	場 所
11月30日	日	第1回競技会要覧会議	14:00~16:00	長良川競技場 会議室
1月17日	土	第2回競技会要覧会議	14:00~16:00	長良川競技場 会議室
		2回から3回校正		
3月初旬	土	配布・販売開始		

5 その他の主な会議

月 日	曜 日	会 議	時 間	場 所
4月19日	土	高橋尚子研修会清流ハーフマラソン 2025第2回主任者会議	15:00~16:00	長良川競技場 会議室
1月18日	日	清流郡市対抗駅伝主任者会議	午前	長良川競技場 会議室
1月24日	土	監督会議	午後	水産会館

6 その他 業務

- ・2025年度日本陸連地域活性化助成金
使用方法決定と申請・報告
- ・地区陸協との連携
- ・各大会審判業務反省要望のとりまとめ
- ・日本陸連、県、県教育委員会、メモリアルセンター、県体協、等連携
- ・補助金申請、報告、会場使用申請、その他
- ・各種会議の招集

【2024年度 受章者一覧】

●公益財団法人日本陸上競技連盟 表彰

章	氏 名	所 属
高校優秀指導者章	新井 秀行	中津商業高校教員
中学優秀指導者章	田口 智洋	高山市立新宮小学校教員
高校優秀選手章	篠田 心晴	美濃加茂高
中学優秀選手章	長谷部 光輝	RIXPERT(揖東中)

●少年少女陸上競技指導者 表彰 (安藤スポーツ・食文化振興財)

章	氏 名	所 属
安藤百福章	桜庭 直人	岐阜陸協

●東海陸上競技協会 表彰

章	氏 名	所 属
功 劳 章	上野 悟一郎	関体協
	土屋 雅敏	大垣陸友クラブ
	木下 克己	岐阜陸協
	岡部 孝	各務原A・C

●一般財団法人岐阜陸上競技協会 表彰 (日本選手権混成競技大会開催記念)

章	氏 名	所 属
功 劳 章	大西 伸郎	岐阜教員クラブ岐阜
	高木 伸吾	岐阜教員クラブ岐阜
	太田 三暁	岐阜アスリート
	吉田 靖	岐阜アスリート
	村井 伴成	若鮎中濃
	水谷 敦子	南濃SC
	郷 直人	岐阜教員クラブ岐阜
	堀 一智	OgakiAC
	安藤 勝敏	恵那体連

章	選手名	所属	大会名	種目	記録結果	
特別勲功章	赤松 謙一	SEIB UPRINCE	パリ オリンピック	走高跳	2m31	5位
			日本選手権	走高跳	2m25	1位
勲功章	田中 廉治郎(M1)	新潟 医療福祉大	日本 学生陸上	十種競技	7259点	1位
	篠田 心晴(2)	美濃加茂高 佐賀国スポ	800m	2:08.49	3位	
小棕章 (男女優秀選手)	長谷部 光輝(3)	RIXPERT (揖東中)	少年B 男子走幅跳	7m21(+0.3)	1位	
			少年A 女子800m	2:08.49	3位	
加藤章 (8位入賞)	今峰 紗希(2)	済美高	佐賀国スポ	少年A 女子300m	38.73	5位
	若園 茜	岐阜陸協		成年女子 棒高跳	3m90	6位
	鈴木 凰士朗(3)	市岐阜商高		少年A 男子やり投	62m43	6位
	可児 将大(M2)	日本大		成年男子 110mH	13.96(+0.1)	8位
	篠田 佳奈(4)	京都大		成年女子 やり投	53m94	8位
田口章 (出場チーム)	荒深 巧翔(2)	各務原 中央中	全日本 中学選手権	4x100mR	予選 44.16	
	城所 悠太(3)					
	津崎 順也(3)					
	堀 蒼空(3)					
	木澤 莉央(2)	美濃 加茂Jr	全日本 中学選手権	4x100mR	予選 51.04	
	川合 濃奈(1)					
	清水 琉愛(2)					
	伊藤 彩生(1)					

章	選手名	所属	大会名	種目	記録結果	
	星合 柏太(3)	益田清風高	U18陸上	3000mW	12:21.86	1位
	日置 恵那(3)	岐阜高専	U18陸上	やり投	48m77	1位
	鈴木 凰士朗(3)	市岐阜商高	U20陸上	やり投	65m92	3位
記念章	篠田 心晴(2)	美濃 加茂高	佐賀国スポ	少年A女子 800m	2:08.49	3位
			U18陸上	1500m	4:28.91	3位
	今峰 紗希(2)	済美高	U18陸上	300m	39.11	3位
	長谷部 光輝(3)	RIXPERT (揖東中)	佐賀国スポ	少年B 男子走幅跳	7m21(+0.3)	1位
	永井 裕(3)	KJAC (長森中)	全日本 中学選手権	400m	50.33	3位

章	選手名	所属	大会名	種目	記録	日付
新記録章	岡崎 樹(2+)	駿河 台大	丸亀ハーフ	10km途中 通過タイム	29:25	2/4
	山下 航生(M1+)	九州 共立大	九州共立大 チャレンジ	円盤投	55m68	3/22
	赤松 謙一	SEIBU PRINCE	パリ オリンピック	走高跳	2m31	8/10
	可児 将大(M2)	日本大	日本学生	110mH	13.66(-0.1)	9/20
	後藤 誉(3)	中京大	ひろしま 県央競歩	10000mW	40:53.08	11/24
	篠田 佳奈(4)	京都大	関西学生	やり投	57m63	5/24
	瀬木 彩花(2)	名城大	関西実業 団選手権	1500m	4:20.69	6/1
	樹山 由來(3)	済美高	全国 高校総体	4x400mR	3:42.66	8/1
	ヘネシー憩杜凜(2)					
	市原 奈那(2)					
	今峰 紗希(2)					

●2024年度 優秀選手章

章	選手名	所属	大会名	種目	記録
澤田章 (棒高跳優勝者)	前出 旺佑(3)	至学館大	県選手権	棒高跳	4m50
	持田 翼(3)	多治見高	県高校総体	棒高跳	4m20
	西山 寛斗(3)	大垣西部中	県中学総体	棒高跳	3m80
土屋章 (最優秀選手)	山下 航生(M2)	九州共立大	県選手権	円盤投	53m44 大会新
	森 樺音(3)	筑波大	県選手権	400m	54.77 大会新
	鈴木 凰士朗(3)	市岐阜商高	県高校総体	やり投	64m60
	日置 恵那(3)	岐阜高専	県高校総体	やり投	48m32
	永井 裕(3)	KJAC(長森中)	県中学総体	400m	50.16
	伊藤 希実(3)	RIXPERT(揖東中)	県中学総体	走幅跳	6m02(+0.4) 県中学新
	高木 悠希(6)	R O B L E	小学生 選手権	6年800m	2.26.24 大会新
	藤塚 妃奈(6)	Let'sたるい	小学生 選手権	コンバインドB	1750点走幅跳 4m19 ジャベボール36m56

【栄章受賞者集合写真 2025年3月2日 長良川競技場】



(委員長 吉田 靖)

審判委員会

【2024年の振り返りと2025年に向けて】

1. 2024年は…

2024年の競技会は、日本選手権・混成大会開催に向けて審判技術の向上や若手審判員の確保の実用性を重点に置きながら運営をしてきました。全国と同様、岐阜陸協も高齢化が進む中、できる限り交代できるよう審判委員会としては、少人数での競技運営を目指しました。皆さんには、多くの心配や不便をかけたことを申し訳なく思っています。今後もこのような体制で競技会を運営していきたいと考えています。また、審判依頼をはがきに変えて、メール配信で行っていきたいと考えています。メールアドレスの登録をお願いします。まだ完全な少人数運営にはなっていませんので、今後も皆さんのご協力が必要となってきますのでよろしくお願ひします。

2024年度は東海・全国レベルの大会がいくつもありましたが、すべての競技会が大きなトラブルもなく無事開催することができました。ありがとうございます。2025年度もよろしくお願いいたします

今年度S級に昇格された方は、松田哲明さんです。おめでとうございます。これからもよろしくお願いします。また、C級審判員も岐阜で増えつつあります。今後も高校生を中心とした若い方々の頑張りを期待しています。

2. 日本選手権・混成競技大会、日本選手権・リレー大会、日本ID陸上選手権大会の開催!

2025年度も全国大会を主催します。日本選手権・混成競技大会、リレー大会を7月12日(土)・13日(日)、日本ID陸上選手権大会を7月19日(土)・20日(日)に岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催します。昨年に続き世代を代表する選手が岐阜で素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれます。特に日本選手権・混成競技大会、リレー大会では、日本を代表する競技者が多数参加してくれることが期待されます。東京世界選手権を狙う選手たちが、思う存分のパフォーマンスが発揮できるような競技運営をしなければなりません。ルール通りに進行することはもちろん、招集から選手紹介、レース、結果発表までの流れ、また、この一連を伝えるアナウンスなど全審判員の連携を大切にしていきましょう。

3. 2025年度に向けての主なルール改正

今年度は大きなルールの変更や追加はありません。

多少の変更や確認がいくつかあります。

- ①スタート時における不適切な行為は審判長が判定する。
- ②上訴ができるのはジュリーがおかれている大会に限る。
- ③同順位となり上位大会に進出させる方法は主催者が決める。
ジャンプオフ、抽選、追加試技なども可とする。競技注意事項に記載するとよい。
- ④曲走路と直送路との境にコーンを置く。(50mm×50mmの明確な色)
- ⑤150m競走での風力測定時間は10秒とする。
- ⑥跳躍競技において、計測する痕跡は着地する瞬間に身に着けていたものとする。
- ⑦競歩競技において、追加種目あり。(ハーフ: 21.0975Km, マラソン: 42.195Km)
ペナルティー時間(ハーフ: 2分, マラソン: 4分)
- ⑧国内のWRk大会で使用する投げ物は、WA認証品かつJAAFの検定品とする。
- ⑨棒高跳において、バーの位置の変更は、試技時間が開始されたら変更できない。

(委員長 脇田 篤実)



競技委員会

2024 競技会参加数(2019~参加者実数)

月	日	曜日	競技会名(主催・共催・主管)	会場	男	女	総数	2023	2022	2021	2020	2019
4	7	日	岐阜県春季陸上競技記録会	長良川	595	322	917	974	752	991	中止	1081
4	7	日	岐阜県春季陸上競技記録会	星ヶ台	324	190	514	520	666	718	中止	647
4	13	土	澤田記念棒高跳競技会 春季陸上競技大会	長良川	1248	647	1895	1847	1788	2028	中止	2122
4	21	日	ぎふスポーツカーニバル	長良川	904	621	1525	1392	1777	1201	中止	1623
4	28	日	清流ハーフマラソン	長良川								
5	5	日	岐阜陸協高校生春季記録会	長良川	714	347	1061	1167	—	—	—	—
6	6	月振										
5	11	土	中部実業団対抗陸上	長良川	560	166	726	854				
5	12	日										
5	17	金	県高校総体	長良川	808	432	1240	1302	1023	895	1305	1023
5	18	土										
5	19	日	東海学生陸上競技選手権大会	長良川	613	251	864	878	868	863	—	1082
5	24	金										
5	25	土	中学生学年別陸上	長良川	903	624	1527	1475	1640	中止		2339
6	1	日										
6	2	日	小学生選手権	浅中	474	348	822	787	841	中止	546	938
6	8	土	岐阜マスターズ陸上	星ヶ台			0					
6	14	金	東海高等学校総合体育大会	長良川	607	505	1112	—	918	—	—	—
6	15	土										
6	16	日	日本選手権混成選手権 U20日本選手権混成選手権	長良川								
6	22	土										
6	23	日	岐阜県陸上競技選手権大会・定通総体 岐阜県陸上競技選手権大会	長良川	973	456	1429	1343	1253	1237	964	2468
7	6	土										
7	7	日	県中学総体	長良川	1151	814	1965	2250	956	1121	中止	1550
7	14	日										
7	15	月祝	小学生陸上	長良川	563	402	965	962	976	912	825	1074
7	21	日										
7	27	土	全日本中学通信陸上競技大会	長良川	783	539	1322	1410	1674	1804	1233	1998
7	28	日										
8	11	日	岐阜陸協強化記録会・国体選考会	長良川	399	214	613	698		591	1123	1169
8	17	土	東海選手権	長良川	1108	939	2047	—	—	—	—	—
8	18	日										
8	24	土	U16岐阜県予選会	長良川	369	266	635	656	721	818	898	1232
9	1	日	秋季陸上	星ヶ台	中止(台風のため)			803	972	中止	872	691
9	15	日	県高校新人陸上	長良川	650	328	978	1035	956	1031	1145	1291
9	16	月祝										
9	22	日	県民スポーツ大会	中津川	213	75	288					
9	29	日	中学生新人陸上競技大会	長良川	653	510	1163	1190	1148	993	1264	702
10	5	土	中部実業団多治見フェスタ	星ヶ台								
10	6	日										
10	13	日	清流駅伝	県庁～羽島								
10	19	土	秋季東海学生陸上競技選手権	長良川	753	210	963					
10	20	日										
11	3	日	岐阜県秋季陸上競技記録会	星ヶ台	543	340	883	2115	2038	1780	1737	2339
11	4	月祝	県高校駅伝	山県								
11	9	土	県中学駅伝	山県								
11	17	日	ぎふしんウィメンズラン	岐阜市								
11	24	日	東海高校駅伝									
12	1	日	長距離・強化記録会	長良川	236	141	377	250	248	310	437	478
12	15	日	小学生駅伝	里山公園								
12	21	土	朝日月例長距離一次	長良川				111	—	中止	中止	278
1	18	土	朝日月例長距離二次	長良川				310	—	中止	中止	436

(委員長 河野 康彦)

強化委員会

今年度を振り返って

強化委員長を務めさせていただいております、今井順也です。強化委員長を拝命し2年目が終了しようとしております。今年度はパリオリンピック男子走高跳にて赤松諒一選手(SEIBU PRINCE)が日本勢88年ぶりとなる第5位入賞。佐賀国民スポーツ大会少年B男子走幅跳にて長谷部光輝選手(RIXPERT)が39年ぶりとなる岐阜県中学記録を樹立しての優勝など、岐阜県の陸上史のみならず日本の陸上史に大きな1ページを刻む1年になったかと思います。

全体としては昨年のかごしま国体から佐賀国スポーツにかけて得点は10点増加、順位は8つ上げての32位、都道府県対抗駅伝は平均年齢17歳の「日本一若いチーム」で臨んだ男子が29位、東京オリンピック代表の安藤友香選手を擁し、絆でつなぎ女子が24位となるなど、昨年度と比較し着実に競技力が向上している手応えを感じています。

組織の取り組みとして、今年度は県から重点強化種目に指定していただき(令和8年度まで予定)同じく国スポフルエントリー種目であるスキーやレスリングの先生方と交流を行い、他種目からのアドバイスも取り入れながら新しい試みを積極的に行ってまいりました。具体的には

- ①国スポ内定・候補選手の合宿の機会を増やし(8月高山、2月彦根)選手間やスタッフ間の交流を深め、チーム岐阜への帰属意識をより高め、皆で国スポへ向かっていく環境づくり
- ②大学卒業(院修了)後の選手の活動場所の確保(実業団への接続)
- ③県主催のジュニアアスリート育成プロジェクトに参入し、競技人口の確保に努める
- ④一流指導者を招聘し(山崎一彦日本陸連強化委員長)県内指導者の養成と指導方法の共有を図る

など、多岐に渡り活動を行いました。これだけ多くの取り組みを全て行うことができたのは、ひとえに理事の方々や強化スタッフをはじめ多くの方々のご理解やご協力無しには実施することができませんでした。ありがとうございました。今後も岐阜県民の皆様の

ご期待に添えるよう頑張っていきたいと思っております。そのためにも強化委員会としては様々な部署との連携が必要になります。強化を行っていく上で、岐阜陸協理事会との連携や東海5県陸協強化部との連携、また高体連や中体連の陸上競技専門部、クラブチームとの連携、学連や実業団などとの連携により更なる強化の体制が整っていくと考えております。「現状維持は後退の始まり」と捉え、今後も守りに入ることなく様々な取り組みを積極的に実施していきたいと考えています。選手が結果を出せる環境を整え、実際に結果に繋げていくことが我々の成果だと考えておりますので、一つ一つの取り組みを大切にしていきたいと思っております。

今後ともご指導、ご声援を宜しくお願い致します。



佐賀国スポ内定者強化合宿 中山競技場



都道府県対抗女子駅伝
(委員長 今井 順也)

普及委員会

新型コロナウイルス感染症への対応が徹底され、以前のように大会が開催できるようになってきました。普及委員会では、例年通り「岐阜県小学生陸上競技選手権大会」や「日清カップ岐阜県小学生陸上競技交流大会」の運営を行っています。大小30以上の団体が参加をして頂けています。

昨年度の日清カップ全国大会では、男子コンバインドAにて小川君の8位入賞を筆頭に女子コンバインドAの9位、100mにてB決勝進出1名、C決勝進出2名、混合リレーにてB決勝進出と多くの小学生が全国大会の舞台で結果を残すことができました。昨年の大会は例年の横浜スタジアムではなく国立競技場で開催され、参加した小学生たちにとっては、良い思い出となったと思います。

今年度の小学生選手権大会は、6月1日に浅中陸上競技場で実施されました。グランドコンディションもよく、好記録がいくつも出了しました。特に6年生男子100m、5年生以上男子コンバインドA、5年生以上男子コンバインドBでは大会新記録が樹立されました。新型コロナウイルス感染症以前のレベル、あるいはそれ以上に小学生のレベルが上がってきたように思います。

今後も小学生の皆さんのが、練習の成果を十分発揮することができるよう、大会を運営していきたいと考えています。

普及委員の活動としては、大会の運営の他に「スタートコーチ」「ジュニアコーチ」の資格取得に向けて、講習会を実施しています。昨年度は、スタートコーチに30名超、ジュニアコーチに20名超の申し込みを頂きました。今年度も、講習会の実施を計画しています。

普及委員会は、今年度から竹内茂寿委員長となり、組織を変えました。これからも、ジュニア選手の皆さんやジュニア選手の指導者の皆さんになるような活動を行っていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。



日清カップ 第40回全国小学生陸上競技交流大会 報告

期日 2024年9月22日(日) 場所 東京都 国立競技場

競技	氏名	所属	予選	決勝	順位
5年男子100m	三浦 煌星	中津川Jr	13.71	13.72	C決勝 2位
5年女子100m	五島 彩瑛	大垣陸少	14.07	14.25	B決勝 6位
6年男子100m	安村 知晃	レツツたるい	12.96		予選敗退
6年女子100m	小島 あこ	RIXPERT	13.59	13.57	C決勝 2位

4×100m混合リレー	氏名	所属	予選	決勝	順位
1走	宇野 るい	新友陸上			
2走	田中 楽人		52.38	52.79	B決勝 6位
3走	中林 いち羽				
4走	西本 優直				
友好男子100m	櫻野 純士郎	新友陸上		14.21	
友好女子100m	高橋 美緒	新友陸上		14.95	

種目	氏名	所属	80mH	走高跳	得点	順位
男子コンバインドA	小川 輝太	K-JAC	12.75	1m37	2278	8位
女子コンバインドA	河本 玲良	陸岐道	13.13	1m28	2109	9位

種目	氏名	所属	ジャベリック	走高跳	得点	順位
男子コンバインドB	吉田 宗祐	はしまモアAC	43m44	4m50	1976	35位
女子コンバインドB	藤塚 妃奈	レツツたるい	41m04	4m14	1827	26位

男子コンバインドAにて小川君の8位入賞を筆頭に女子コンバインドAの9位、100mにてB決勝進出1名、C決勝進出2名混合リレーにてB決勝進出と多くの子が全国大会の舞台で結果を残すことができました。

今大会は例年の横浜スタジアムではなく国立競技場で開催され、参加した子供たちにとっては例年とは違った良い思い出となったのではないかと思います。

スタッフ	氏名	所属
監督	伏谷 美香	普及委員・新友陸上
指導者	柴 雅明	普及委員・中津川Jユニア
指導者	門谷 正英	新友陸上
指導者	堀 達成	普及委員・大垣陸少
支援コーチ	竹内 茂寿	普及委員・土岐おりべ
支援コーチ	野村 広大	RIXPERT
支援コーチ	西口 大樹	陸岐道
支援コーチ	池田 政一	新友陸上



(委員長 岸 栄二)

記録情報委員会

今年度の方針について

前年度は、より多くの方に関わっていただけたよう、運営体制の見直しを進めてまいりました。競技運営の効率化が進んだことは非常に喜ばしい一方で、業務の属人化や情報の整理など、いくつかの課題も明確になってきました。

今年度は、「効率と正確さの両立」および「誰もが関わる体制の構築」を軸に、再現性のある業務体制

づくりを推進します。経験や知識の差を踏まえ、学びたい方がいつでも学べる機会の提供や、初めての方でも関わりやすい環境整備を通して、県全体の底上げを図ってまいります。

あわせて、過去の競技会記録の整理・保存にも着手します。古い資料が活かせなくなる前に、少しでも早く動き出すことが重要だと考えています。

(委員長 山下 和行)

女性委員会

2024年度活動報告・2025年度活動予定

女性委員会の最大の活動として、託児事業があります。13年目を迎え、男性審判員からの利用者も増え、児童数も増加傾向です。そのため、児童の年齢に合わせた場所の確保や保育士の増員と小学部の教員の先生を迎えることができました。そして、もう一つの活動として、女性審判員の増員を目的としています。

特に、出産・育児等のライフイベントにより、陸上競技活動に参加することを断念する女性特有の課題があり、女性審判員の活動割合は男女比で20%以下です。

スポーツ庁では、女性とスポーツに関する現状と課題を踏まえて、2018年11月には女性スポーツ推進の柱を「世代ごとのスポーツ実施率の向上」「団体の女性役員の増加」「女性指導者の育成」の3つに集約しました。我が国における女性のスポーツ環境を充実・改善する上では、スポーツ庁をはじめとする関係団体と連携・協力し、スポーツ界が一体となって女性スポーツの推進に取り組むことが求められるとされています。

その取組に当たって、2019年にアンケート調査を行い、現状と課題把握の結果、ユニホームの色を改善する事ができました。それから6年目を迎えた本年度は、女性審判員のみならず全審判員が安心して積極的に競技活動に参加していただくために、新たな視点で、異なるアプローチが必要と考え、アンケート調査を実施したいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。そして、女性の意欲・ニーズに合わせ、気軽に楽しめるように働きかけができると良いと考えます。

託児所の場所ですが、写真のような展望できる一室をお借りできたことで、父や母が審判をしている姿を「パパ～ママ～、父ちゃん母ちゃん」と呼び手を振る姿がとても可愛い絆を感じることもできました。保育士様をはじめ、多く

の方々の協力でなり立っていることに感謝いたします。これからも安心して競技審判に参加できるように取り組んで参りたいと思います。

今後も女性委員会では、特に女性審判員が1人でも多く参加できる策を、役員メンバーや地域の代表メンバー間の情報共有と意見交換の場として、更にLINEを活用したネットワークを充実させていきたいと思います。

2025年度 女性委員会事業計画と目標

1. 託児所の安全な運営のため、
場所の確保と人員確保を継続することができる
2. 女性協会員が活動しやすように、
現状の意見や要望を共有し生かすことができる
3. 2025年度 託児所開室予定競技会
(7競技会、8回、長良川競技場のみ)

・ぎふスポーツカーニバル	4月29日(火祝日)
・中部実業団陸上	5月11日(日)
・全日本中学通信陸上	6月15日(日)
・岐阜県選手権	6月29日(日)・7月5日(土)
・日本選手権混成	7月13日(日)
・県中学総体	7月26日(土)
・中学新人	9月28日(日)



(委員長 渡邊 喜久子)

医事委員会

2024年活動報告・2025年活動予定

本委員会としては、例年どおり4月からの競技会開催に際して、岐阜県スポーツドクター協議会へ「医師・看護師派遣依頼」を行いました。第67回東海陸上競技選手権大会においては、医師も派遣依頼しました。岐阜県スポーツドクター協議会の協力は大であり、競技会運営の重要な位置づけであると思っています。将来的には、岐阜陸協専属の医師・看護師を数名確保し、交代で競技会における教護活動や国民スポーツ大会等への帯同などが可能になる体制の確立を模索しています。

4月の「ぎふ清流ハーフマラソン」では、救護本部と教護車の配置を行いました。気温が高い条件での開催であり、救急搬送や心肺停止などの事案もありました。教護本部や教護所との連携がスムーズで大きなトラブル無く終えることができました。

7月の岐阜県陸上競技選手権大会においては、看護師と連携した「救護活動」とゴール横や第3コーナーにトレーナーを配置する「スタジアム救護」を行いました。昨年度から再開した「トレーナールーム」も、多くの選手が利用しました。また、本委員会の顧問である松岡整形

外科の松岡竜輝先生に大会運営を視察いただきました。8月の東海陸上競技選手権大会では、医師・看護師と連携した教護活動で熱中症や肉離れなどの対応を行いました。トレーナールームも開設し、テーピングやアイシング・ケアなどの対応を行いました。トレーナーの資質向上と貴重な体験ができ、今後の活動を見据えるなかで大きな収穫でした。

令和7年1月には、ぎふ清流ハーフマラソンの教護備品(消耗品)の点検を行い、4月の大会に備えました。令和7年3月の日本陸連「トレーナーセミナー」は、岐阜陸協から3名派遣する予定です。

課題である本委員会への医師・看護師の参画については、関係者とも協議し、方向性を示していくたいと考えています。

来年度は、日本選手権混成も開催されます。医事委員会として、どう関わるか、関係団体等と協力し対応していく必要があると考えています。

課題等は多くありますが、岐阜陸上競技協会のため、陸上競技選手のために活動していきたいと考えておりますので、さらなるご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。



(委員長 河島 正弘)

広報委員会

【2024年 活動報告と2025年事業計画】

2024年度は、赤松 謙一選手のパリオリンピック走高跳5位入賞の快挙があり、中学生・高校生の全国レベルでの活躍が際立つ一年となりました。

このため、広報号外の発行や様々な大会報告等をトピックスとして長良川競技場の掲示板や本部室に掲示して広く知らせることができました。

広報誌第15号は岐阜陸上競技協会役員の改正年度に当たるため、6月の評議員会を待って8月に発刊することとなりました。

1.2024年度の事業内容

(1) 内容

- ブダペスト世界陸上 赤松選手8位入賞
- 高校3年間を振り返って～60mスローを目指して～ 横井 希美
- 2024年度 岐阜陸上競技協会 会長・専務理事あいさつ
- 2023年度 国際大会・全国大会(岐阜県開催)における岐阜県出身選手入賞者の記録
- ・国際大会等、第71回全日本実業団対抗陸上競技

- 選手権大会、2023ジャパンパラ陸上
全国都道府県駅伝 男子
※記録は、記録・情報処理委員会に確認を依頼
(パラ記録は、吉田 徹)
○2023年度 岐阜県開催の全国大会・地域大会の等
○各委員会報告、中体連報告、高体連報告、地区
陸上競技協会報告
- (2)特集号外発行
- 第14号-2 4月1日
「全日本混成大会を開催します」
 - 第14号-3 7月12日
「パリ2024オリンピック代表内定 赤松諒一選手」
「赤松選手激励会…岐阜県選手権」
 - 第14号-4 8月17日
「日本勢最高に並ぶ第5位入賞 2m31 赤松選手」
 - 第14号-5 8月24日
「U20世界陸上日本代表 櫻井希美選手」
「東海陸上競技選手権」
 - 第14号-6 9月12日
「SAGA2024国スポ 県代表内定」
「全国高校総体・全国中学総体」
 - 第14号-7 1月13日
「全国都道府県対抗女子駅伝 京都」
「全国都道府県対抗男子駅伝 広島」
 - 第14号-8 3月2日
栄章授与式・理事会配布
特集「ぎふ清流駅伝」
「全国都道府県対抗女子駅伝・男子駅伝」
「2024 活躍した高校生(選手・チーム)」
 - 第14号-9 3月6日
「世界室内ツアーウォーク走高跳優勝 赤松諒一選手」
- (3)岐阜県選手・チーム活躍や大会記録の新聞記事を
本部室及びロビー掲示し、競技会役員へプログラム
に添付配布

- 東京世界陸上女子マラソン代表にむけて
(都道府県対抗駅伝への思い)
安藤 友香選手(しまむら)
JMCトップ・名古屋ウイメンズマラソン日本人トップ
○U18アジア陸上選手権女子400mに優勝して
今峰 紗希選手(済美高)
○日本陸連競技者育成章を受章して
・原田 憲一(評議員)
・川瀬 巧(常務理事)
○田中廉治郎選手(新潟医療福祉大学)
日本学生陸上 十種競技 1位
○長谷部 光輝選手 RIXPERT(揖東中)
国スロ少年男子B 走幅跳 1位 県中学新記録
○篠田 佳奈選手(京都大学)
日本学生 やり投 3位 関西学生 やり投岐阜県新記録
(2)2025年度・2026年度
岐阜陸上競技協会 挨拶
(3)2025年度・2026年度岐阜陸上競技協会組織図
(4)第108階全日本混成大会関係特集
2024年 6月22日(土)23日(日)
(5)国際大会・主な国内大会における岐阜県(出身)
選手入賞者等(パラも含む)
(6)2024岐阜県開催の全国大会・地域大会一覧
(7)専門委員会報告
(8)地区陸上競技協会報告
- <特集号外発行>
- 第109回全日本混成競技会
 - 東京世界陸上
 - 滋賀国スポ 等
- <岐阜県選手・チーム活躍や大会記録の新聞記事を本部室及びロビー掲示>

(委員長 宇野 雅浩)

2.2025年度の主な事業内容

<広報15号掲載内容(案)>

- (1)岐阜陸協2024年～2025年 トピックス
- 東京世界陸上男子走高跳代表にむけて
赤松 諒一選手
(西部プリンスホテルズ ワールドワイド)
パリオリンピック5位入賞、清流の国ぎふ栄誉賞、入賞
を祝う会

岐阜県中体連陸上競技専門委員会

<中体連事業計画>

方針 (3F+「F(選手 First)」)

Fight(闘志)

Friend Ship(友情)

Fair Play(正々堂々と勝負)

岐阜県中学校体育連盟の運営の充実をめざすとともに、学校教育活動としての運動部活動の発展に努め、生徒の健全育成を図る。

岐阜県中学校総合体育大会スローガン『自らみがこう心とからだ!』

- ・豊かな心とたくましい体で精一杯努力する大会にしよう。
- ・自己の責任と役割を自覚し、みんなで協調しあう大会にしよう。
- ・仲間とともに感動や喜びを味わう大会にしよう。

<2024年度総括>

中体連の地域クラブ等の参加が昨年度から認められ、今年度はよりクラブでの活動が活発になっていることを実感する。岐阜県内では21のクラブチームが中体連への参加をした。県内の中学校においても地域連携、地域移行の動きが大きくなってきており、令和8年度からの地域移行完了に向けて今後も大きな変化があると考えられる。

県総合体育大会では、女子走幅跳で岐阜県記録を更新した伊藤希実選手(RIXPERT)を含め6種目で大会記録を更新した。全中においても個人種目17名と昨年度よりも人数を伸ばしてきている。また、U16大会を含めると全国規模での入賞も増えてきた。全中での男子400mで3位の永井裕選手(KJAC)をはじめ、国スポでの少年B走幅跳優勝の長谷部光輝選手(RIXPERT)と活躍が光った。これらの結果からも確実に競技力は向上してきている。

駅伝においては男子のKJACが初出場で27位と健闘した。女子の日枝中学校は2年連続の出場となり42位と昨年度よりも記録も順位も伸ばしてきた。大会経験を生かして成長できるチームであると感じた。県総合体育大会では、どのチームも、地区大会からの成長が大きく感じられた。仲間と共に目標をもち、競技力を高められているのが記録に見られた。岐阜県の全ての選手において成長し続けられる中学生であって欲しい。

2025年度に向けても中心となる選手のさらなる活躍と、その選手を中心としたチーム岐阜としての全体の向上を目指していくたい。

2024 福井全中岐阜県選手団成績表

種目	出場者	学年	所属名	結果			順位
				予選	TR	A決勝	
男子 100m	城所 悠太	中学3	各務原市立中央中学校	11.27(-0.3)			男子
男子 400m	永井 裕	中学3	KJAC	50.80		50.33	
男子 800m	中嶋 乾成	中学2	岐阜市立岩野田中学校	2.00.43			
男子 800m	若松 郁磨	中学3	神戸町立神戸中学校	2.03.05			
男子 800m	橋本 彪我	中学2	アスレティクス多治見TFC	2.02.50			
男子 800m	吹春 瞬	中学3	土岐市立肥田中学校	2.04.62			
男子 1500m	渡部 喜市	中学3	高山市立日枝中学校	4.25.12			
男子 3000m	足立 龍星	中学2	ROBLE	8.58.26			
男子 走高跳	祢宜 輝都	中学3	大垣市立西部中学校	1.82			
男子 走高跳	児島 颯空	中学3	一般社団法人陸岐道	1.79			
男子 棒高跳	西山 尋斗	中学3	大垣市立西部中学校	NM			女子
男子 走高跳	長谷部 光輝	中学3	NPO法人リクスパート	5.83(-0.0)			
男子 4x100mR	荒深 巧翔	中学2	各務原市立中央中学校				
	伊神 颯真	中学2					
	城所 悠太	中学3					
	津崎 順也	中学3					
	堀 蒼空	中学3					
	松本 一輝	中学3					
女子 200m	二村 あすみ	中学3	下呂市立萩原北中学校	25.77(+2.6)			女子
女子 200m	久世 小春	中学3	一般社団法人陸岐道	25.80(+1.8)			
女子 100mH	中井 帆南	中学3	高山市立日枝中学校	14.33(-1.8)	14.23(-1.9)		
女子 走幅跳	伊藤 希実	中学3	NPO法人リクスパート	5.55(-0.0)			
女子 4x100mR	伊藤 彩生	中学1	美濃加茂ジュニア陸上クラブ				
	小川 紗季	中学1					
	河合 桃花	中学1					
	川合 凜奈	中学1					
	木澤 莉央	中学2					
	清水 琉愛	中学2					

2024三重東海中学総体上位成績表

種目	出場者	学年	所属名	結果		順位	
				決勝			
男子	男子1年 100m	三好 溪太	中学1	中津川 TFC	11.50	(+1.7)	2位
	男子1年 100m	榎本 悠希	中学1	NPO法人 リクスパート	11.83	(+1.7)	7位
	男子2年 100m	赤尾 海友	中学2	はしまモア TFC	11.10	(+1.8)	1位
	男子 200m	福島 慶哉	中学3	陶都クラブ	23.06	(-2.6)	6位
	男子 400m	永井 裕	中学3	KJAC	50.33		2位
	男子 800m	若松 郁磨	中学3	神戸町立 神戸中学校	2.03.85		5位
	男子2年 1500m	渡邊 淳	中学2	美濃加茂 Jr	4.15.69		6位
	男子2年 1500m	橋本 彪我	中学2	多治見 TFC	4.15.83		7位
	男子 低4x100m	田口 貴太郎	中学2	中津川TFC	47.32	3位	
	西尾 爽良	中学1					
	三好 溪太	中学1					
	西崎 哉志	中学2					
	男子 走高跳	児島 颯空	中学3	陸岐道	1.86		1位
	男子 走高跳	祢宜 輝都	中学3	大垣市立 西部中学校	1.80		4位
	男子 棒高跳	桑原 直弥	中学3	神戸町立 神戸中学校	3.60		7位
	男子 走幅跳	長谷部 光輝	中学3	NPO法人 リクスパート	6.82	(+1.3)	1位
	男子 砲丸投	小川 友輔	中学3	神戸町立 神戸中学校	12.95		5位
女子	女子1年 100m	川合 凜奈	中学1	美濃加茂 Jr	12.58	(+0.7)	1位
	女子 200m	二村 あすみ	中学3	下呂市立 萩原北中学校	25.61	(-0.7)	5位
	女子 200m	久世 小春	中学3	陸岐道	26.12	(-0.7)	8位
	女子 800m	本田 奈雪	中学2	養老町立 高田中学校	2.29.44		8位
	女子 100mH	中井 帆南	中学3	高山市立 日枝中学校	14.79	(-2.7)	4位
	女子 低4x100m	永井 梨愛	中学2	多治見 TFC	50.97	1位	
	山本 瑠南	中学1					
	清水 希	中学1					
	熊谷 唯	中学2					
	女子 棒高跳	宮本 芽依	中学2	土岐市立 土岐津中学校	2.80		3位
	女子 走幅跳	伊藤 希実	中学3	NPO法人 リクスパート	5.60 公認5.54	(+2.1) (+1.7)	1位
	女子 円盤投	土山 純加	中学2	各務原市立 中央中学校	29.73		3位

2024岐阜県中学総体新記録一覧表

種目	出場者	学年	所属名	結果		順位	
				決勝			
男子	男子1年 100m	三好 溪太	中学1	中津川 TFC	11.76	(-0.4)	1位
	男子 3000m	足立 龍星	中学2	ROBLE	8.54.69		1位
	男子 低4x100m	田口 貴太郎	中学2	中津川 TFC	47.04	1位	
	西尾 爽良	中学1					
	三好 溪太	中学1					
女子	西崎 哉志	中学2					
	女子低 4x100m	永井 梨愛	中学2	多治見 TFC	51.49	1位	
	山本 瑠南	中学1					
	清水 希	中学1					
	熊谷 唯	中学2					
	女子走幅跳	伊藤 希実	中学3	NPO法人 リクスパート	6.02	6.02	1位

令和6年度 中体連結果報告 第32回全国中学校駅伝大会

令和6年12月15日(日)滋賀県希望が丘文化公園芝生ランド
 男子 KJAC 総合順位 第27位 記録 1時間00分08秒
 女子 高山市立日枝中学校 総合順位 第42位 記録46分44秒
男子(6区間・18km)

区間距離	選手氏名	学年	通過記録	順位	区間記録	順位
第1区 (3km)	永井 裕	3	9'47"	32	9'47"	32
第2区 (3km)	原田 悠慎	3	19'32"	29	9'45"	21
第3区 (3km)	西村 駿汰	3	29'22"	24	9'50"	16
第4区 (3km)	堀田 誉人	3	39'39"	27	10'17"	37
第5区 (3km)	小林 宗司	3	50'07"	29	10'28"	32
第6区 (3km)	西部 尊	3	1'00'08"	27	10'01"	22

女子(5区間・12km)

区間距離	選手氏名	学年	通過記録	順位	区間記録	順位
第1区 (3km)	長瀬 小春	1	11'13"	41	11'13"	41
第2区 (2km)	中田 結音	2	18'56"	43	7'43"	43
第3区 (2km)	山本 晶子	2	27'31"	45	8'35"	47
第4区 (2km)	田中 楽乃	2	35'43"	45	8'12"	42
第5区 (3km)	山本 莉央	2	46'44"	42	11'01"	22



2024 U16陸上競技大会(中学生)

種目	出場者	学年	所属名	結果	順位
				決勝	
男子 三段跳	長谷部 光輝	中学3	NPO法人 リクスパート	13m49(+0.9)	5位
男子 ジャベリックスロー	武藤 魁里	中学3	郡上 JAC	60m85	7位
女子 走幅跳	伊藤 希実	中学3	NPO法人 リクスパート	5m58(+0.2)	4位

2024 国民スポーツ大会(中学生)

種目	出場者	学年	所属名	結果	順位
				決勝	
少年男子 B走幅跳	長谷部 光輝	中学3	NPO法人 リクスパート	7m21(+0.3)	1位
少年女子 共通走幅跳	伊藤 希実	中学3	NPO法人 リクスパート	5m40(+1.7)	28位



U16・国スポ 長谷部 光輝



全中 永井 裕

(専門委員長 酒井俊輔)

岐阜県高体連陸上競技専門委員会

【2024年度 高体連総括】

本年度の全国高校総体は、福岡県福岡市にある東平尾公園博多の森陸上競技場で開催されました。県勢は今年度地元岐阜で開催された東海ブロック予選を勝ち抜き、男子10種目10名・女子リレーを含め7種目17名が出場しました。地元の声援もあってか昨年度よりも多くの出場を決めてくれました。

本大会では女子800mにおいて篠田心晴選手(美濃加茂)が県高校新記録で5位入賞を果たしました。佐賀国スポ少年女子A800mにおいても3位入賞しました。さらに女子4×400mRにおいては済美チームが岐阜県新記録、県高校新記録で4位入賞を果たしました。リレーメンバーの今峰紗希選手(済美)は佐賀国スポ少年女子A300mにおいて5位入賞しました。高校総体では惜しくも入賞を逃した鈴木鳳士朗選手(市岐阜商)も佐賀国スポ少年男子Aやり投げで6位入賞を果たしました。

U20日本陸上競技選手権大会においては男子やり投げで鈴木鳳士朗選手(市岐阜商)が県高校記録で5位に入賞しました。女子1500mでは篠田心晴選手(美濃加茂)が7位入賞、女子やり投げで日置怜那(岐阜高専)が7位に入賞を果たしました。U18陸上競技大会においては男子3000mWで星合柑太選手(益田清風)、女子やり投げで日置怜那選手(岐阜高専)が見事優勝を果たしました。また、男子3000mでは長尾優汰選手(美濃加茂)が6位に入賞、女子300mでは今峰紗希選手(済美)が3位、市原奈那選手(済美)が5位入賞と同種目入賞、女子1500mでは篠田心晴選手

(美濃加茂)が3位に入賞しました。

全国大会での優勝や県高校記録の更新、2年生の活躍、東海新人での岐阜県選手の多数の入賞など今後一層の活躍が期待されます。

県内の事業としては通常の高体連主催の大会に加え、東海総体や東海駅伝が実施されましたが、大きな事故等なく終えることができました。

最後になりましたが、今年度の大会開催に際しまして、一般財団法人岐阜陸上競技協会・岐阜県教育委員会・岐阜県高体連・山県警察署・毎日新聞社を始め多くの関係者の方々に多大なるご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

そして、補助員を快く引き受けてくれた高校生諸君、また顧問の先生方の役員派遣にご配慮いただきました各校の校長先生に心より感謝いたします。今後とも陸上競技専門部の活動にご理解をいただきますとともに、ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



全国高校総体 女子800m 篠田 心晴



全国高校総体 女子4×400mR 済美チーム

(委員長 太田 和憲)

地区陸上競技協会報告

岐阜地区陸上競技協会

2024年度の事業が各関係者・関係団体の協力のもと無事終了することができました。

1. 第7回 岐阜地区陸上競技選手権大会開催

第7回岐阜地区陸上競技選手権大会を2024年9月8日(日)岐阜メモリアルセンター長良川競技場にて、小学生274名・中学生505名・一般高校131名・合計920名の参加で、大会新記録が9出て、盛大に開催することができました。同時に小学生1~4年生を対象に記録会も行い無事終了することができました。各優勝者と記録会1位は次の皆さんです。

一般高校

種目	男子	女子
100m	西村 遥生(OgakiAC)	中谷 天香(鷺谷高)
200m	大鹿 佑志郎(SHINJIDAI)	中谷 天香(鷺谷高)
400m	畠中 蓮王(岐阜協立大)	小畠 美空(中央大)
800m	小野 元也(岐阜陸協)	井上 琴葉(加納高)
1500m	青井 夏雄(岐阜MC)	
4×100m	大垣工高A	鷺谷高A
走幅跳	大橋 一心(県岐阜商高)	青井 美緒(しまモアTFC)
砲丸投(7.260kg)	永田 宗太郎(岐阜小特大)	
砲丸投(6.000kg)	立川 大三郎(大垣工高)	
砲丸投(4.000kg)		林 さゆみ(鷺谷高)
やり投	立川 大三郎(大垣工高)	喜多川 智衣(岐山高)

中学

種目	男子	女子
100m	城所 悠太(各務原中央中)	國井 夏乃(RIXPERT)
200m	赤尾 海友(しまモアTFC)	國井 夏乃(RIXPERT)
400m	高橋 隼人(RIXPERT)	
800m	西部 尊(KJAC)	横井 咲絵(しまモア)
1500m	西部 尊(KJAC)	横井 咲絵(しまモア)
4×100m	RIXPERT A	RIXPERT C
走幅跳	野田 雄斗(KJAC)	土山 純加(各務原中央中)
砲丸投	山本 泰誠(TSC)	土山 純加(各務原中央中)

小学

種目	男子	女子
100m	川瀬 奏(RIXPERT)	小島 あこ(RIXPERT)
800m	若森 謙心(KJAC)	平光 葵(島陸上)
混合4×100m	RIXPERT A	
走幅跳	長谷 翌(陸岐道)	岡田 陽彩(各務原陸上)
ジャベリックボール投げ	大西 悠生(KJAC)	岡田 陽彩(各務原陸上)

記録会

種目	男子	女子
小学1・2年50m	岩島 千咲(島陸上)	林 優芽花(陸岐道)
小学3・4年100m	武内 耀平(KJAC)	松原 充希(KJAC)

次回に向け実施種目、一般高校の参加者を多くし、将来的に全種目が実施でき、競技力の向上・地域の活性化につながるよう一步一步前進したい。

2. 全国大会で活躍した選手

本年全国大会で活躍し入賞した選手がいます。全国高等学校陸上競技対抗選手権大会済美高が4×400mR(樹山由來選手・ヘネシー憩杜凜選手・市原奈那選手・今峰紗希選手)で第4位で県新記録を樹立しました。鈴木鳳士朗選手(市岐阜商高)がU20陸上やり投げ第3位・国民スポーツ大会少年A男子やり投げ第6位、今峰紗希選手(済美高)がU18陸上300m第3位・国民スポーツ大会少年女子300m第5位、日置怜奈選手(岐阜高専)が全国高等専門学校体育大会女子やり投げ優勝・U18陸上女子やり投げ優勝、永井裕選手(KJAC長森中)が全日本中学陸上男子400m第3位、全国高専体育大会陸上競技で岐阜工業高等専門学校が女子総合優勝(藤井結菜選手100m第3位・200m第5位、吉澤花音選手100mH第2位・走幅跳第2位、4×100mR優勝、横地ひとみ選手砲丸投・円盤投優勝、日置怜奈選手やり投げ優勝、森わかな選手円盤投第7位・やり投げ第2位)、男子が総合4位(岡村祐樹選手200m第4位・400m第2位、永井大智選手400mH第5位、4×100mR第3位、高橋秀弥選手三段跳第4位、青井彩人選手円盤投優勝・やり投げ第5位)入賞しました。

3. 世界で活躍する選手

県立加納高等学校・岐阜大学院出身の赤松諒一選手が、パリオリンピック男子走高跳で2m31を飛び5位入賞して世界で活躍をしました。

4. 岐阜地区から多くの各栄章受章者がでした。

少年少女陸上競技指導者表彰安藤百福記念賞を桜庭直人さんが、一般財団法人岐阜陸上競技協会功労章を、大西伸郎さん・高木伸吾さん・太田三暁さんが、特別勲功章を赤松諒一さんが、加藤章を今峰紗希さん(済美高)・鈴木鳳士朗さん(市岐阜商高)が、田口章を各務原中央中の荒深巧翔さん・城所悠太さん・津崎順也さん・堀蒼空さんが、記念章を日置怜那さん(岐阜高専)・鈴木鳳士朗さんが、新記録章に走高跳で県新記録を出した赤松諒一さん・4×400mRで県新記録を出した済美高の樹山由来さん・ヘネシー憩杜凜さん・市原奈那さん・今峰紗希さんがそれぞれ受章されました。また、岐阜高専陸上部と個人で日置怜那さん・青井彩人さん・森わかなさん・岡村祐樹さん・横地ひとみさん・吉澤花音さん・市岐阜商高の鈴木鳳士朗さん・KJAC長森中の永井 裕さんが県スポーツ賞を受賞されました。

岐阜地区から多くの栄章受賞者が出て、また競技力が上がりました。これも、中学校・高等学校の指導者・関係者の努力の成果だと思います。今後この現状がさらに向上することを期待します。

2025日本選手権・混成大会 小中学校訪問(岐阜地区)



三里小学校(6月11日)



本田小学校(6月20日)



東長良中学校(6月18日)



境川中学校(6月18日)

5. 2025年度 事業計画案

日 時	事 業 名	場 所
4月20日(日)	第8回各務原スプリントライアル春季大会	各務原市総合運動公園
8月10日(日)	第8回岐阜地区陸上競技選手権大会	長良川競技場
10月11日(土)	岐阜地区中学校駅伝競走大会	山県市四国山香りの森公園
10月26日(日)	第9回各務原スプリントライアル秋季大会	各務原市総合運動公園
11月16日(日)	ぎふしんウイメンズラン	メディアコスモス
2月22日(日)	理事会	未定
3月22日(日)	第1回各務原ロングトライアル大会	各務原市総合運動公園

世界で活躍する選手が増え、女子やり投でオリンピック金メダリストが出、本年世界陸上が日本で開催され陸上界が活気づいています。岐阜地区でも、全国大会で活躍する選手が多数います。このような選手の今後の活躍に期待したい。こうした選手が多く出るよう、小学生の埋もれている逸材の発掘、中学高校生の強化、各都市の活性化をあげ関係団体と協調しながら取り組み、選手だけでなく指導者・審判員の活躍・向上を目指したいと思います。

(理事長 正村 菊雄)

西濃地区陸上競技協会

2024年度総括及び2025年度事業計画

1. 2024年度総括について

2024年度西濃地区陸上競技協会は、創立70周年の大きな節目でした。

創立70周年記念祝賀会を11月30日(土)、クインテッサホテル大垣で開き「大垣市長、揖斐川副町長、岐阜陸上競技協会尾藤会長他多数の御来賓の御出席を賜り節目の年を祝いました。

西濃地区陸上競技協会「田口利正会長」の挨拶の中で、「昭和29年(1954年)日本合成化学工業の大垣工場で働く陸上愛好者が競技会を開催し協会が発足しました。」と紹介がありました。また、式典に合せて功労者6名(牧野 安孝氏、臼井 隆氏、酒井 清司氏、野川 光義氏、高木 敏夫氏、梅本 美奈子氏)の表彰を執り行いました。

主な事業として、西濃陸上競技選手権大会があり、小学生から一般社会人まで約1500名余りの競技者が参加し岐阜県内は元より愛知県、三重県等の近隣県からの参加があります。競技日程も2日間となり年々盛大な大会となっています。

昭和63年(1988年)11月13日(日)揖斐川町で「誰もが参加できる市民マラソン」として開催された。いびがわマラソン大会(フルマラソン・ハーフマラソン)は、全国から目標3000人を超える3392人のエントリーがありました。第2回以降も申込みは増加して開始1時間程で定員に達し、マラソン熱の高まりを感じました。

2022年より、コースへの落石によってフルマラソンは中止となり、2024年11月10日大会ではハーフマラソンのみで4892人のランナーが参加しました。フルマラソンの復活も模索され

ており期待しています。

大垣市陸上競技協会の主な事業は、8月4日の大垣市陸上選手権に県内の中学生から一般社会人まで530名の参加がありました。12月8日のおおがきマラソンには、県内外から4641名の参加がありレース途中には、時雨が降る中を選手が力走しました。

浅中公園陸上競技場は、9月から第3種公認更新工事に着手して令和7年3月頃に完了し令和7年度陸上競技大会には、新しくなった競技場での新記録が期待されます。

2. 2025年度事業計画について

- ①4月20日(日) 普及強化記録会(浅中公園陸上競技場)
- ②6月7・8日(土・日) 西濃選手権(浅中公園陸上競技場)
- ③6月頃総会予定
- ④10月18日(土) 普及強化記録会(浅中公園陸上競技場)
- ⑤11月 9日(日) いびがわマラソン(揖斐川町内)
- ⑥11月23日(日) 普及強化長距離記録会(浅中公園陸上競技場)

【大垣陸協関係】

- ①9月23日(火) 大垣市選手権(浅中公園陸上競技場)
- ②12月14日(日) おおがきマラソン(大垣駅前～安八)



いびがわマラソンスタート



西濃地区陸上競技協会70周年式典
(地区理事 安田 貞美)

中濃地区陸上競技協会

2024年度を振り返って

2024年度に計画した競技会のうち、選手の普及強化をはかるために小学生や中学生を中心として、岐阜陸上競技協会及び中濃体育協会の助成金を活用して練習会や普及強化記録会を実施し普及と育成強化事業を行いました。

2月16日に開催された郡市対抗駅伝競走大会では、関市(3位)、美濃加茂市(4位)可児市(6位)と中濃地区の3市が上位入賞しました。これは選手の頑張りと指導にあたられた監督、コーチ方々のご努力の賜物と思います。「ご苦労様でした。

陸上競技場の新設と改修

美濃加茂市牧野(可茂特別支援学校隣)に全天候型(未公認)競技場が新設されました。

ブルーの400mトラックと本格的なフィールドを兼ね備えた競技場は美濃加茂市の陸上愛好者をはじめとして中濃地区の選手にとって待望の競技場となります。



競技場の案内図



トラックの新設工事風景



中池陸上競技場が再び日本陸連公認(第3種)競技場として改修する事になりました。

陸上競技場は25年9月より第3種規格で改修工事を始め26年度の春には以前のように公認記録会を開催する事が出来ます。

また、24年度にナイター照明をLED灯に改修しました、今年度よりナイター競技会を数年ぶりに開催できます。

2024年度に中濃地区で開催した競技会

- ・5月4日 2023年中濃地区陸上競技記録会
(247名参加)
- ・9月14日 2023年中濃地区ジュニア陸上競技記録会
(439名参加)
- ・2月2日 第38回中濃駅伝競走大会
(39チーム参加)
- ・3月23日 中濃地区審判講習会及び地区理事会を開催
- ・その他 年間を通して地域クラブの合同練習会を開催しました。

第39回中濃駅伝競走大会を県立百年公園で開催しました。



第39回中濃駅伝競走大会のスタート

2025年度中濃地区競技会開催予定

2025年度は中池陸上競技場を土曜日を中心に毎月2~3回の合同練習の為に会場を確保していますので、選手の皆さん是非練習会場として使用してください。

また、普及と強化を図るため記録会や合同練習会など、ジュニア選手を中心に下記の様に競技会を計画しました。選手の皆さん是非参加してください。

- ・5月6日 2024年中濃地区春季陸上記録会
- ・6月7日 25年度中濃体育大会兼陸上競技記録会
- ・6月19日 2025年中濃地区ナイター陸上競技記録会
- ・2月上旬 第39回中濃駅伝競走大会
- ・3月下旬 中濃地区審判講習会

要項等詳細については、陸協(中濃地区)のホームページで周知致します。

2024年度岐阜陸上競技協会功労章受賞者

・吉田 靖様(岐阜アスリート) ・村井 伴成様(若鮎中濃)
永年岐阜陸協理事及び中体連の役員として活躍されている2名の方が岐阜陸上競技協会より、受章されました。おめでとうございます。

今後もお二人が岐阜陸上競技協会の発展に尽力される事をご期待申し上げます。

(理事長 上野 悟一郎)

東濃地区陸上競技協会

【2024年度の振り返り】

2024年度も小中学生の競技人口の維持拡大を目指して、5つの競技会を主催し、小中学生が身近な地域で競技大会に出場できる機会を確保するとともに、2023年度に引き続き、参加チームから保護者等関係者の補助審判員を出してもらい、選手、保護者、競技役員の皆で競技会を運営していく環境を確立することができました。

【競技会】

○令和6年5月3日(祝日)

大会名:第26回東濃地区ジュニア陸上記録会
場所:中津川市 中津川公園競技場
エントリー人数:357人
エントリー数:個人731 リレー49
会概要:今後の主要大会に向けて自身の記録を確認する記録会。初めての競技会となった小中学生もありました。

○令和6年6月9日(日)

大会名:第2回東濃地区中学生陸上競技選手権大会
場所:中津川市 中津川公園競技場
エントリー人数:232人
エントリー数:個人347 リレー20
大会概要:中学生が県中学総体のエントリーに向けて、東濃地区の中学生を対象に競技会を開催。中学生が競技会を経験する機会として実施していますが、中体連組織との連携が課題となっています

○令和6年6月30日(日)

大会名:第53回東濃スポーツ大会陸上競技会
場所:中津川市 中津川公園競技場
当番市:瑞浪市
大会概要:東濃5市対抗の競技会。
成績:優勝 土岐市 2位 多治見市 3位 中津川市
4位 瑞浪市 5位 恵那市

○令和6年9月7日(土)

大会名:第26回東濃地区中学生新人陸上競技大会
兼小学生陸上競技大会
場所:中津川市 中津川公園競技場
エントリー人数:417人
エントリー数:個人401 リレー44
大会概要:東濃陸協主催競技会で、唯一団体総合及びリーチームの表彰も行う競技会のため、各チーム、優勝目指しての競技会となりました。

○令和6年9月22日(日)

大会名:第16回岐阜県民スポーツ大会陸上競技
場所:中津川市 中津川公園競技
大会概要:岐阜県民スポーツ大会陸上競技が東濃地区担当で中津川市で開催。
成績:優勝 大垣市 2位 岐阜市 3位 羽島市
4位 美濃加茂市 5位 山県市 6位 高山市
7位 各務原市 8位 土岐市

○令和6年10月26日(土)

大会名:第9回東濃地区秋季ジュニア陸上競技大会
場所:多治見市 星ヶ台競技場
エントリー人数:525人
エントリー数:個人844 リレー41
大会概要:東濃地区外の多くのチームからも参加者があり、気象条件も良く、多くの大会新記録が生まれ、盛り上がりました。

○令和6年11月17日(日)

大会名:第71回中山道東濃駅伝競走大会
兼第10回岐阜県駅伝競技選手権大会
場所:中津川市～多治見市
参加チーム数:49チーム
大会概要:東濃5市を結ぶ市民ランナーが参加できる一般道を使った駅伝大会は少ないことから県内外から多数のチームの参加しました

○令和7年2月2日(日)

大会名:第46回東濃ロードレース大会
共催:株式会社TYK、中日新聞社
場所:多治見市 株式会社TYKスタートゴール
5k・3kコース
エントリー人数:204人
大会概要:株式会社TYK様の資金面も含めた全面的な協力により大会が成り立っています。天候を考慮しきふ清流郡市対抗駅伝へ向けて日程を変更したことから各市代表選手も含めて参加者が増えました。

【2025年度主催競技会】

2025年度も次の大会を主催し、小中学生に身近な地域で競技会に参加できる環境を提供し、競技人口の拡大と競技力の向上を図ります。

○令和7年5月3日(祝日)

大会名:第3回東濃地区中学生陸上競技選手権大会
場所:多治見市 星ヶ台競技場

○令和7年5月17日(土)

大会名:第27回東濃地区ジュニア陸上記録会
場所:中津川市 中津川公園競技場

○令和7年6月7日(土)

大会名:東濃地区記録会
場所:中津川市 中津川公園競技場

○令和7年7月20日(日)

大会名:第54回東濃スポーツ大会陸上競技会
場所:多治見市 星ヶ台競技場

当番市:多治見市

○令和7年9月13日(土)

大会名:第27回東濃地区中学生新人陸上競技大会
兼小学生陸上競技大会
場所:中津川市 中津川公園競技場

○令和7年10月25日(土)

大会名:第10回東濃地区秋季ジュニア陸上競技会
場所:多治見市 星ヶ台競技場

○令和7年11月16日(日)

大会名:第71回中山道東濃駅伝競走大会
共催:中日新聞社
場所:中津川市～多治見市

○令和8年2月1日(日)

大会名:第47回東濃ロードレース大会
共催:株式会社TYK、中日新聞社
場所:多治見市 株式会社TYKスタートゴール
5k・3kコース



岐阜県民スポーツ大会



第46回東濃ロードレース大会
(理事長 鈴村 幸宣)

飛騨地区陸上競技協会

2024年度を振り返って

今年も多くの皆様の協力を得て、無事予定の競技会を実施することができました。協力をしていただいた方に感謝したと思います。

学校の部活動から地域クラブ活動への移行が進んでいます。特に中学校においては2025年度より具体的活動に進展していくようです。他の種目団体をみると地域移行化がほぼ完了し、地域クラブとしての活動を行っているところもあるようです。課題はまだまだたくさんあるのですが、そういった競技種目団体を参考にしながら、本協会としてもクラブ化について推し進めていきたいと考えています。

少子化が進み、少年団で活動する子供の数も減っています中ではありますが、飛騨地区のスポーツ少年団では熱心な指導者に支えられて充実した活動を行っています。指導に関わっている方々には、本当に頭の下がる思いです。

多くの方々に支えられて、飛騨地区の陸上競技は発展してきましたが、審判員の不足も依然として大きな課題です。課題はいろいろありますが、皆様の力を得て取り組んでいきたいと考えています。 少年団の大会より

令和7年度・飛騨地区競技日程

5月3・4日(土・日)

飛騨地区春季陸上競技記録会(中山)

5月24日(土)

高山市民スポーツカーニバル・

高山市陸上スポーツ少年団大会(中山)

高山市高等学校対校陸上競技大会1日目

5月25日(日)

高山市中学校対校陸上競技大会

高山市高等学校対校陸上競技大会2日目(中山)

7月6日(日)

飛騨地区中学総体陸上競技大会(中山)

7月19日(土)

飛騨地区高校総体陸上競技大会(中山)

8月30日(土)

飛騨地区小学生・スポーツ少年団交流会(中山)

8月31日(日)

飛騨陸上競技選手権大会(中山)

10月4日(土)

高山市中学駅伝競走大会(中山)

10月5日(日)

飛騨地区高校駅伝競走大会(飛騨市古川町森林公園)

10月11日(土)

第46回飛騨地区秋季陸上競技記録会(中山)

10月12日(日)

飛騨地区中学駅伝競走大会(中山)

11月24日(月・祝)

飛騨駅伝競走大会(飛騨市古川町)

令和7年度の飛騨地区で開催される主な競技の予定です。

(理事長 坂谷 幸紀)



次号紹介

2026年5月発行予定

編集委員

宇野 雅浩 溝際 佳典

原 清隆 河野 康彦

山下 和行 吉田 徹